【日刊・月曜休刊】昭和25年(1950)7月15日（土曜日）第47号　磐城毎日新聞　可認物郵便第三種郵便物認昭和25年7月6日　(一)

磐城毎日

町南市平縣島福
(内區局平)六六
社開新日每城磐式
株會集編發
倫孝藤遠
番〇一二一(平)話電

新鮮なる魚は
魚店へ
平市南町郵便局裏通り
電話(平)三三〇番

不評の水道、明後年挽回
淨水池着工近し

市水道の水不足は盛夏の水焦眉の急とされている、水使用量の最盛期を控え一層道施設については現在の水深刻になる事を豫想され現道施設を擴張する事は至難ほか七名、役場、土監、自在に於ても夕刻には水道のでありまた、市では夏井川を利由勞組代表ら關係十五名が出が惡く各家庭の台所を惱所して鎌田山に水道施設をしている、一朝火災等の場新たに計畫するに至つた事合には全國に誇る消防設備は既報の如くであるが、そを有する平市でもこの水不の計畫内容と施工の進渉程足では寶の持ち腐れとなる度を打診する恐れがあり、これが對策は

土地買收もすんで
豫算二千万圓で着手

新設の水道は夏井川の水を直接鎌田山に吸い上げるのではなく、夏井川の河底の下を流れる伏流水を取り入れるもので伏流水と云うのは川水が川底の土砂を透し た水で、この水を川底の下に設備される淨水池は二百五十平方米で有効深水四米である、淨水池其の他に要する土地一町二反ぶは既に買收濟みで、目下土質調査中、工事に要するし材も購入中で鐵管、鐵筋等は相當量購入濟みである、この計畫が完成すれば平市の

人口
六万迄は大丈夫との折紙がつけられて居るこの水道施設は人口の增加に連れ夏井川の河底にロ過裝置を增設して行けば如何程でも水道の水量を增せるわけであるが、現在の計畫の完成は滿二ケ年を要する見込みで平市民が夏井川の水の恩惠に浴するのは二十七年の初夏の頃と豫想されている

(註一個の水とは一秒間に一立方尺流れる水量)鎌田山に設備される淨水池は二百五十平方米で有効深水四米である、淨水池其の他に要する土地一町二反ぶは既に買收濟みで、目下土質調査中、工事に要するし材も購入中で鐵管、鐵筋等は相當量購入濟みである、この計畫が完成すれば平市の

人口
六万迄は大丈夫との折紙がつけられて居るこの水道施設は人口の增加に連れ夏井川の河底にロ過裝置を增設して行けば如何程でも水道の水量を增せるわけであるが、現在の計畫の完成は滿二ケ年を要する見込みで平市民が夏井川の水の恩惠に浴するのは二十七年の初夏の頃と豫想されて

直接鎌田山に吸い上げるのではなく、夏井川の河底の下を流れる伏流水を取り入れるもので伏流水と云うのは川水が川底の土砂を透し た水で、この水を川底の下に設備される淨水池は二百五十平方米で有効深水四米である、淨水池其の他に要する土地一町二反ぶは既に買收濟みで、目下土質調査中、工事に要するし材も購入中で鐵管、鐵筋等は相當量購入濟みである、この計畫が完成すれば平市の

人口
六万迄は大丈夫との折紙がつけられて居るこの水道施設は人口の增加に連れ夏井川の河底にロ過裝置を增設して行けば如何程でも水道の水量を增せるわけであるが、現在の計畫の完成は滿二ケ年を要する見込みで平市民が夏井川の水の恩惠に浴するのは二十七年の初夏の頃と豫想されて

自轉車鑑札
平市で書替

自轉車の盜難防止等の見地から自轉車の鑑札の一齊付替を實施する事となつた、新鑑札の付替手數料は實費五十円で各區の付替場所及日割りは次の通りである

△市公會堂　十八日＝一、二、三、四區、十九日＝五、六、七、八、九、十、十一、十二區、二十日＝十三、二十三、二十八區

△第三小學校　二十一日＝八、九、十區、二十二日＝十八、十九、二十一區

二十五日＝二十二、二十六、三十五、三十六區

△第四小學校　二十六日＝二十九、三十、三十一區

△第二小學校　二十七日＝十四、十五、十六、十七區

右の日割りで每日午前九時から午後四時半まで市の係員が出張して實施し飯野、神谷兩支所管内は別に日割りを各支所にて定め、管内の市民に知らせる事となつている

水源林の植樹
五十町歩完了

二十五年度夏井川水源地帶の涵養林增植は縣荒廢林復舊事務所の手で約百五十町歩に亙つて行われたが、此の程終了した、町村別に見ると赤井村二十町歩、小川村十町歩、川前村二十町歩となつてゐる

水源林明年の計画
三百町歩を九百万圓で

夏井川流域の二十六年度水源林造成事業計畫は植林面積三百町歩、豫算約九百万円でこのほど完成、縣當局に其の許可方を申請した、各地域別に見ると石城郡赤井地内六十町歩、小川地内六十町歩、川前地内四十町歩、大野地内四十町歩、好間地内が二十町歩、三輪地内二十町ぶ、平地内二十町ぶ、田村郡夏井地内二十町ぶ、小野新町地内二十町ぶとなつた

泉海岸地に
防風林をつくる

小名濱町渚地内の潮害防備林の增植は縣荒廢林復舊工事の一部として植林面積三町歩、約三百町歩を九百万圓で實施することになつた、同地小名濱―泉を

簡保の契約突破
知事賞は平局

平郵便局は十三日縣廳に於て開催された簡易保險契約三千億円突破記念に縣内第一位の成績で知事賞を授與個人賞は保險課猪狩傳事務官が贈られた

失業對策委員
赤井村失業對策委員會赤井村に

員會では十三日午前十時か

高校辯論會
十六日午前九時より磐女高講堂にて

十六日午前九時より磐女高講堂にてTMCの發表會を開く、曲目は合唱靜かに流れるアフトン河他十二曲、獨唱塚本敦子他四名、ピアノ獨奏、愛川ひろ子他三名ヴイオリン獨奏織内陽一男聲合唱夢の園他二曲である

×

十六日午後二時より磐女高講堂でTMCの發表會を開く、曲目は合唱靜かに流れるアフトン河他十二曲、獨唱塚本敦子他四名、ピアノ獨奏、愛川ひろ子他三名ヴイオリン獨奏織内陽一男聲合唱夢の園他二曲である

×

平郵便局は十三日縣廳に於て開催された簡易保險契約三千億円突破記念に縣内第一位の成績で知事賞を授與個人賞は保險課猪狩傳事務官が贈られた

失業對策委員
赤井村失業對策委員會赤井村に

員會では十三日午前十時か

事件がつくつた昇格
平職安近く增員

平職業安定所は縣内各職業縣で三ケ所である安定所に比べて取扱う事務件數が最も多く青森、仙台のA級職安所をも凌駕して東北一多い狀態だつたが、このほど十日付でA級に昇格した、この昇格に伴い職制も現在の業務、調査、庶務の三課に勞働、失業保險の二課が增えて五課となるため現在の四十六名（定員三十八名）では人員が不足なので豫算が許せば七十名（A級定員五十名）位まで增員するもようである、建物も人員のぞう加により收容し切れぬので新築かぞう築か、元配炭公園のような遊休施設の利用などの方法を考慮しており、早急に實現するものと思われる、現在國内で特級、A級の職業安定所は五十七ケ所でこんど昇格した平を入れて東北六

人事ニュース

出生
二日平市南町小山枉氏三男勝三さん△四日平市舊城跡鈴木富衛氏長男實さん△平市田町小松飯吉氏四女ひろみさん

死亡
八日平市南町鈴木洋子(生後五日)

盛夏の海
平光画會主催で
撮影會員募集

平光畫會主催「海と女性」の撮影會は來る三十日催すことになつた、撮影の經路は午前八時三十分市内驛前廣場から貸切り遊覽バスで平―豊間(燈台)―江名中ノ作―小名濱―湯本を經て歸る、會費百円（バス代を含

地方税に就て（六）
平市税務課

新らしい

次に市税收入の双璧煙突その他土地に定着するし産を私用に供する場合、つまり官舍公舍、市營住宅に住む者があればその使用者に課する規定であります、國縣市町村、日本專賣公社、放送協會、國有鐵道、宗教法人、學校法人、社會福祉施設等には固定し産の價格は定されるか、昭和二十五年度に限り土地、家屋についてはその賃貸價格を九百倍した

固定資産とは土地、家屋と事業の用に供する償却資産の總稱であつて土地とは田畑、宅地、池沼、山林原野など、家屋とは住家、店舗で工場（發電所、變電所を含む）倉庫など償却資産とは事業用のドック、橋、岸壁、棧橋、軌道、貯水池、坑道、運搬具、工具、等をいひ、自動車、自轉車、荷車は別個にそれぞれ自動車税、自轉車税、荷車税がかゝるのに音樂（ダンス）と体操が本館一ぱいに行う、また深會を開き縣中央委員の動行する氏の模範演技や額賀兄弟報告、認定講習、高校教組の重量擧等があり盛會を豫分離問題について協議した

平職業安定所は縣内各職業縣で三ケ所である安定所に比べて取扱う事務件數が最も多く青森、仙台のA級職安所をも凌駕して東北一多い狀態だつたが、このほど十日付でA級に昇格した、この昇格に伴い職制も現在の業務、調査、庶務の三課に勞働、失業保險の二課が增えて五課となるため現在の四十六名（定員三十八名）では人員が不足なので豫算が許せば七十名（A級定員五十名）位まで增員するもようである、建物も人員のぞう加により收容し切れぬので新築かぞう築か、元配炭公園のような遊休施設の利用などの方法を考慮しており、早急に實現するものと思われる、現在國内で特級、A級の職業安定所は五十七ケ所でこんど昇格した平を入れて東北六

吾輩は虎である
文藝欄

（二）　吉田昌廣

桑原さんではコトリともしない、留守かなと事件を好む吾輩は裏のベランダには い上り欄杆に駈け上つた、留守を相手に日頃優しい鬼頭さんが一体何をやるのだらうと興味が湧いた、なに猫のくせに生意氣だ！そんなこともあるまい、人間という動物の中には猫よりも感覺の鈍いのがおり、この頃よく男女同權と云うが、猫の世界では吾々が原始形態を云はなくてもちやんと供つている、人間というのは厄介な者である、やれ何制も現在の業務と騒いでもつれあつたり、ひつかき合つたり恨を呑んだり呑まれたり、まつたく御氣の毒だといつても思つている、こんなところに万物の靈長たる所以があるなら全たくもつておなぐさみである、着物一枚作ることの要らない猿麥一粒つくらないで歌を唱つている鳥の方がよつぽどいい人間なんてまつぴらだまして男みたいな女、女みたいな男などをみると猫の方が遙かにいゝ

産科婦人科
入院隨時
五十嵐醫院
平市新川町
電話三六九番

外科　外科一般　整形外科　性病科　皮膚科　肛門科
松村亨

胃腸　内科　胃腸科　呼吸器科　放射線科
松村鐵郎

平市南町一〇七
松村醫院

平市材木町(文化劇場裏通)
皮膚科　性病科　泌尿器科
江尻醫院
電話二四八番

平市搦槌小路一番地
伊藤歯科醫院
伊藤一人
電話三四五番

海の記念日から 20日 一般に公開

海上安全週間

鹽屋岬燈台

豊間町地内鹽屋岬え再び眞白に塗り直してスマートなスタイルで夏の海燈台では十七日から始まる海上安全週間に因んで二十日の海の記念日かつてなくてはならぬ存在となつている、なお十八日午ら四日間同燈台を無料公開（從來參觀料五円）することになつた、この話を放送する

期間中は同燈台内の闇夜の海上二十三浬半(約九里)を照明する八十万燭光の燈光裝置や安全航海のための無線標識裝置の説明ほか參考品多數を陳列して燈台長いか六名の係員が説明に當ることになつた

同燈台は明治三二年十二月十五日しん工し地震で崩壊したが昭和十二年二月十五日に再しん工した、以前は一等燈台だつたがその後三等に格下げになり、本年四月戰災箇所の復舊修理を終ゝ

盛たくさん海祭

二十一日から小名濱觀協で

小名濱觀光協會では二十日泳げる者、Cクラスは二の海の記念日を期し二十一米位泳げる者となつてゐる二十二の二日間港まつりを開催、その行事として第一日海の殉難者慰靈祭、舞踊大會、郡内水泳大會、濱三郡野球大會、第二日舞踊大會、假裝行列、花火大會、濱三郡野球大會、第三日ヨット大會、けん闘大會、濱三郡野球大會、その他寫眞競技會、學生、生徒海の繪畫展覽會、郡内庭球大會等を行う、尚平から乘り換なしの臨時列車、平發八時十五分、小名濱着九時五分、小名濱發十七時三十五分、平着十八時二十九分の運轉がある

水泳講習會

磐女生四ッ倉え

磐女高では十八日より三日間四倉において一年生全員の水泳講習を開く、出發は午前八時十七分の上り列車で歸りは四倉午後五時發下りであつて講習方法はA、B、Cの三クラスに分けて行ふ、Aクラスは全然泳げない者、Bクラスは十米位中の水をかき廻はしたり水分の手でいたづらしていたのが身体全部がつゝまれ呑まれて終ふやうな氣がするのである、なんと云つてもまず水に對する恐怖心をはやくとることである、淺いところでお風呂に入るやうな氣安い氣持で肩迄水につけさせたり、体操したり、手を握り合つてお互に離さないやうにして水中歩行をしないでかはるがはる顔を水につける練習をする

（前もつて顔を洗ふ際洗面部水の中にもぐらせて「誰かつを(小名濱―四倉)　二二〇―一八〇円
すゞき(久之濱)　四〇〇円
あわび(小名濱)　五五〇円
ほつき(久之濱)　三五〇円
總入荷やく千五百貫、前日問合せは五百番に願います

海の家設ける

四ッ倉に平局で

平郵便局では局員の厚生施設として夏期鍛練と保健に四ッ倉町旭旅館を二十日から一ケ月間海の家として借受け管内全局員と家族に宿泊三百円日歸り百円で海水浴客の便宜を計ることになつた

外人登錄違反

原審不服で控訴

内郷町宮字代一一五古物商兼冷菓製造業山口二郎と雀鶴奉(四二)は外國人登錄違反で去月二十七日地裁平支部で懲役一年、罰金五万圓を言い渡されたが十日不服として仙台高裁に控訴した

集團强盜に

懲役七年求刑

昨年四月十二日午後十一時ころ永戸村渡戸字峠下平八八農業草野傳七さん方に押入り短刀とオモチヤのピストルで脅迫し、煙草報奬金一万三百六十円を强奪した永戸村渡戸字高野五〇農業鈴木年春(三)同山ノ神農業青木正男(二〇)同青木方農業雇人遠藤一哉(二九)同高野青木專吉(二九)にかゝる强盜公判は十三日地裁平支部で開延、石川檢事から鈴木懲役七年、青木、遠藤懲役五年青木(專)懲役三年のそれぞれ求刑があり、市る、秋元両辯護人から情狀酌量の辯論が行はれた

自由勞務者

今度値上げ要求

平市自由勞組野崎峯組合長ら代表七名は、昨日に引續き十四日午後二時ころ平職業安定所てくれと要求、これに對し八百四十圓すりとり片寄さましていたが十三日窃盜容疑で平市署に捕つた

煙草の盜難

十三日夜好間村上好間字中村立百三十五番地現場作業工事中の道路線三阪線三阪の線三阪の線三阪の